



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月7日
上場取引所 東

上場会社名 S P K株式会社
 コード番号 7466 URL <https://www.spk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沖 恭一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 藤井 修二 TEL 06-6454-2002
 定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年5月31日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 63,302 | 15.7 | 3,145 | 15.6 | 3,357 | 15.3 | 2,392 | 16.1 |
| 2023年3月期 | 54,695 | 14.7 | 2,720 | 33.7 | 2,910 | 27.3 | 2,059 | 26.7 |

(注) 包括利益 2024年3月期 2,679百万円 (12.9%) 2023年3月期 2,373百万円 (37.0%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年3月期 | 238.20 | — | 10.3 | 9.2 | 5.0 |
| 2023年3月期 | 205.13 | — | 9.7 | 9.0 | 5.0 |

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 38,641 | 24,591 | 63.4 | 2,438.04 |
| 2023年3月期 | 34,351 | 22,175 | 64.6 | 2,208.26 |

(参考) 自己資本 2024年3月期 24,483百万円 2023年3月期 22,175百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年3月期 | 1,835 | △1,797 | 167 | 6,852 |
| 2023年3月期 | 838 | △879 | 426 | 6,513 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年3月期 | — | 20.00 | — | 24.00 | 44.00 | 441 | 21.5 | 2.1 |
| 2024年3月期 | — | 23.00 | — | 27.00 | 50.00 | 502 | 21.0 | 2.2 |
| 2025年3月期(予想) | — | 28.00 | — | 32.00 | 60.00 | | 25.1 | |

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 34,500 | 11.8 | 1,700 | △4.2 | 1,800 | △6.8 | 1,250 | △5.4 | 124.48 |
| 通期 | 67,000 | 5.8 | 3,200 | 1.7 | 3,420 | 1.9 | 2,400 | 0.3 | 238.99 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）SPK Motorparts Co., Ltd.、除外 1社（社名）-

（注）詳細は、添付資料P12「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項（当連結会計年度における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 2024年3月期 | 10,453,800株 | 2023年3月期 | 10,453,800株 |
| 2024年3月期 | 411,712株 | 2023年3月期 | 411,712株 |
| 2024年3月期 | 10,042,088株 | 2023年3月期 | 10,042,088株 |

（参考）個別業績の概要

2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 48,108 | 11.4 | 1,677 | 17.7 | 1,978 | 15.0 | 1,462 | 16.7 |
| 2023年3月期 | 43,170 | 9.0 | 1,425 | 6.6 | 1,720 | 6.4 | 1,253 | 9.6 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 145.66 | - |
| 2023年3月期 | 124.80 | - |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 29,175 | 18,963 | 65.0 | 1,888.37 |
| 2023年3月期 | 26,450 | 17,948 | 67.9 | 1,787.31 |

（参考）自己資本 2024年3月期 18,963百万円 2023年3月期 17,948百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (会計方針の変更) | 12 |
| (当連結会計年度における重要な子会社の異動) | 12 |
| (企業結合等関係) | 13 |
| (セグメント情報等) | 15 |
| (1株当たり情報) | 18 |
| (重要な後発事象) | 18 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当連結グループの業績

(単位：百万円、%)

| | 当連結会計年度 | 前連結会計年度 | 対前期比 |
|-----------------|---------|---------|-------|
| 売上高 | 63,302 | 54,695 | 115.7 |
| 営業利益 | 3,145 | 2,720 | 115.6 |
| 経常利益 | 3,357 | 2,910 | 115.3 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,392 | 2,059 | 116.1 |

② 連結売上高データ

(単位：百万円、%)

| | 当連結会計年度 | 前連結会計年度 | 対前期比 |
|-----------|---------|---------|-------|
| 国内営業本部 | 29,822 | 27,287 | 109.3 |
| 海外営業本部 | 22,336 | 18,195 | 122.8 |
| 工機営業本部 | 7,685 | 6,001 | 128.1 |
| CUSPA営業本部 | 3,458 | 3,210 | 107.7 |
| 連結売上高 | 63,302 | 54,695 | 115.7 |

当連結会計年度におけるわが国経済環境は、新型コロナウイルス感染症の落ち着きに伴い、社会経済活動の回復が進み、景気は緩やかながらも持ち直し傾向がみられました。世界的な物価上昇を受けて、日本でもデフレ脱却の兆しが出て、春闘における30年ぶりの高い賃上げが実現し、日銀によって、17年ぶりにマイナス金利政策が解除されました。反面、各地で不穏な国際情勢が続く、物価上昇やエネルギー・資源価格の高止まり、円安基調の長期化、不安定な政治状況など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

一方、当社グループにおきましては、2030年までにモビリティビジネスのグローバル商社を目指す「VISION2030」の1stCycle（2021年～2023年）の、最終年度にあたる当連結会計年度の業績は、基盤事業である国内で、安定的な業績を達成しながら、旺盛な需要に応え、円安メリットのあった海外事業と主要顧客の生産拡大やこれまで取り組んできた環境、安心、安全性能を向上させる製品開発への取り組みが実を結んだ工機事業において、大幅な伸長を示したこと、さらに国内外の連結子会社が貢献を果たしたことで、当初計画を超過する業績となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）の当連結会計年度の業績は売上高633億2百万円（前期比15.7%増加）、営業利益31億45百万円（同15.6%増加）、経常利益33億57百万円（同15.3%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益23億92百万円（同16.1%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(国内営業本部)

国内営業本部は、主要顧客からの受注が堅調に推移しており、商品別ではバッテリー、エンジンオイル、足回り商品、輸入車消耗部品等、主力商品の販売が好調となりました。また国内連結グループ会社の業績も堅調に推移しました。その結果、売上高は298億22百万円となり、前年同期比9.3%の増収となりました。依然として、円安による輸入商品価格の高騰など仕入価格の上昇要因はありますが、物流改革、拠点エリア再編や業務効率化を進めて、コスト増に対応してまいります。また、引き続き取引先や各本部、グループ会社との連携を強化し、補修部品の安定供給を最優先にバリューチェーンの構築に取り組んでまいります。

(海外営業本部)

海外営業本部は、円安が継続していることで、中東地域をはじめほぼ全地域で受注は好調に推移していますが、アジア・中南米地域市場などの一部市場では現地販売がスローダウンし、若干在庫過多の状況です。サプライヤーからの値上げは落ち着いたものの、納期の長期化は想定より改善しておらず、バックオーダーは依然として高い水準が続いています。その影響で当第4四半期の輸出はややペースダウンしましたが、当連結会計年度累計では好調な業績となりました。一方、海外連結グループ会社はシンガポール法人を筆頭に全て順調であり、連結業績に大きく貢献しています。その結果、売上高は223億36百万円となり前年同期比22.8%の増収となりました。

(工機営業本部)

工機営業本部は、主要顧客である建機・農機・産業車輛メーカーの生産が好調に推移しました。その結果、売上高は76億85百万円となり、前年同期比28.1%の増収となりました。一方、市場・業界動向は低調な欧州・中国需要に加え、好調を支えてきた北米需要の先行きが不透明な経営環境ではありますが、顧客・市場で需要が高まる環境性能、安心・安全性能を向上させる製品開発に取り組むことで、脱炭素・安心安全社会に向けて貢献してまいります。

(C U S P A営業本部)

C U S P A営業本部は、為替変動に伴う輸入商材価格の上昇、原材料費の高騰などの外部要因の影響を引き続き受けておりますが、自社ブランドの商品ラインアップの見直しや、新規ブランドの販売拡大を目的とした新規開拓を積極的に実施し、また、メディア露出やモータースポーツシーンを中心に効果的なプロモーションを継続的に行いました。その結果、売上高は34億58百万円となり、前年同期比7.7%の増収となりました。今後も原材料価格や為替の変動に柔軟に対応し、主要商品の安定供給を図ってまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は306億25百万円となり、前連結会計年度末と比較して29億48百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加3億55百万円、受取手形及び売掛金の増加2億67百万円、電子記録債権の増加6億67百万円、および棚卸資産の増加15億79百万円によるものです。固定資産は80億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億41百万円の増加となりました。これは主に建物及び構築物（純額）の増加6億55百万円、土地の増加5億円、および投資有価証券の増加2億20百万円によるものです。

この結果、総資産は386億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して42億90百万円の増加となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は107億33百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億82百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加4億64百万円、および1年内返済予定の長期借入金の増加2億60百万円によるものです。固定負債は33億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億90百万円の増加となりました。これは主に長期借入金の増加9億29百万円によるものです。

この結果、負債合計は140億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して18億73百万円の増加となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は245億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億16百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益23億92百万円の計上及び剰余金の配当4億71百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は63.4%（前連結会計年度末は64.6%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は期首に比べ2億64百万円増加（前連結会計年度は4億66百万円増加）し、当連結会計年度末には68億52百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は18億35百万円（前連結会計年度は8億38百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益33億41百万円と、売上債権の増加6億40百万円、棚卸資産の増加8億70百万円、仕入債務の増加2億45百万円、および法人税等の支払額11億57百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は17億97百万円（前連結会計年度は8億79百万円の支出）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1億98百万円、子会社株式の取得による支出2億90百万円、有形固定資産の取得による支出10億34百万円、無形固定資産の取得による支出1億31百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は1億67百万円（前連結会計年度は4億26百万円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の減少3億27百万円、長期借入れによる収入21億円、長期借入金の返済による支出10億19百万円、および配当金の支払による支出4億71百万円によるものです。

当社グループのキャッシュ・フロー指標は次のとおりであります。

| | 2023年3月期 | 2024年3月期 |
|-----------------------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 64.6 | 63.4 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 50.6 | 53.8 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%) | 458.2 | 261.1 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 42.4 | 95.0 |

- (注) 自己資本比率 : 自己資本／総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

1. いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上している負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しについては、次期中期計画を新たに策定し、ビジョン2030で示す目標を達成するため、体制づくりを重要課題としておりますが、引き続き、増収増益を予想しています。

国内事業については、市場は成熟化していますが、安定した事業基盤の元、さらに強化し、成長と生産性の向上を目指していきます。海外事業については、マーケットは大きく、当社としても、進出しきれていないところも多くありますので、既存ビジネスでの事業拡大を図りながら、整備事業やアフターサービスなど新たな領域へ挑戦してまいります。工機事業については、お客様のご要望に応えられる組織強化を図りながら、先を見越した提案営業ができるように推進強化をしてまいります。CUSPA事業については、広報発信など当社ブランドには多大な貢献を果たしており、引き続き、アグレッシブな挑戦をしながら、事業規模の拡大に邁進します。

また、経営においても、ESG経営の推進、企業価値最大化に向けた経営基盤を構築するため、コーポレート統括本部として管理部門の強化を行うなど、体制づくりを進めてまいります。

このような状況と実態を踏まえて、現時点における2025年3月期の連結業績予想は以下の通りといたしました。

| | | |
|-----------------|-----------|---------------|
| 売上高 | 67,000百万円 | (対前期比 105.8%) |
| 営業利益 | 3,200百万円 | (対前期比 101.7%) |
| 経常利益 | 3,420百万円 | (対前期比 101.9%) |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,400百万円 | (対前期比 100.3%) |

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

① 利益配分に関する基本方針

当社グループは、安定的な経営基盤の確保に努めるとともに、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要項目の一つと位置付けており、業績や財務状況などを勘案しながら、積極的に株主還元を努めております。

② 当期の剰余金の配当

当期の期末配当金につきましては、1株あたり27円とさせていただきます。すでに、2023年12月1日に実施済みの中間配当金1株当たり23円とあわせて、年間配当金は1株あたり50円となります。これにより連結配当性向は21.0%となります。

③ 次期の剰余金の配当

次期の配当につきましては、連続増配も意識しながら、業績に連動した、従来以上に積極的な株主還元を努め、また、内部留保につきましては、今後の事業活動並びに経営基盤の強化を図るために有効活用してまいりたいと考えております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、引き続き日本基準を採用することとしておりますが、将来的なIFRSの適用に備え、その体制や時期について検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,612,792 | 6,967,986 |
| 受取手形及び売掛金 | 10,110,098 | 10,377,360 |
| 電子記録債権 | 1,248,548 | 1,916,388 |
| 棚卸資産 | 8,478,687 | 10,057,746 |
| 未収入金 | 560,577 | 511,619 |
| その他 | 678,440 | 807,306 |
| 貸倒引当金 | △12,413 | △13,205 |
| 流動資産合計 | 27,676,731 | 30,625,201 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 2,477,549 | 3,308,703 |
| 減価償却累計額 | △1,092,134 | △1,267,834 |
| 建物及び構築物(純額) | 1,385,415 | 2,040,868 |
| 機械装置及び運搬具 | 649,040 | 770,629 |
| 減価償却累計額 | △526,310 | △629,202 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 122,730 | 141,426 |
| 土地 | 2,235,369 | 2,735,505 |
| リース資産 | 640,408 | 730,640 |
| 減価償却累計額 | △312,110 | △408,130 |
| リース資産(純額) | 328,298 | 322,510 |
| 建設仮勘定 | 386,912 | 175,973 |
| その他 | 617,261 | 687,925 |
| 減価償却累計額 | △495,364 | △541,592 |
| その他(純額) | 121,896 | 146,332 |
| 有形固定資産合計 | 4,580,621 | 5,562,617 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 335,300 | 413,980 |
| 借地権 | — | 19,248 |
| ソフトウェア | 287,038 | 349,750 |
| リース資産 | 39,097 | 22,514 |
| その他 | 16,323 | 16,967 |
| 無形固定資産合計 | 677,760 | 822,461 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 275,085 | 495,658 |
| 繰延税金資産 | 332,583 | 387,644 |
| 退職給付に係る資産 | 12,637 | 11,562 |
| その他 | 796,502 | 736,762 |
| 貸倒引当金 | △132 | △84 |
| 投資その他の資産合計 | 1,416,677 | 1,631,544 |
| 固定資産合計 | 6,675,058 | 8,016,623 |
| 資産合計 | 34,351,790 | 38,641,825 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,339,491 | 5,803,955 |
| 電子記録債務 | 209,159 | 245,401 |
| 短期借入金 | 1,013,323 | 820,817 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,000 | 20,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 781,191 | 1,041,795 |
| 未払法人税等 | 666,361 | 550,342 |
| 賞与引当金 | 297,221 | 444,187 |
| その他 | 1,424,028 | 1,807,246 |
| 流動負債合計 | 9,750,776 | 10,733,744 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 140,000 | 120,000 |
| 長期借入金 | 1,400,816 | 2,330,252 |
| 退職給付に係る負債 | 470,596 | 482,917 |
| 長期預り保証金 | 114,691 | 108,643 |
| 長期未払金 | 26,046 | 26,880 |
| その他 | 273,286 | 247,713 |
| 固定負債合計 | 2,425,438 | 3,316,407 |
| 負債合計 | 12,176,214 | 14,050,152 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 898,591 | 898,591 |
| 資本剰余金 | 961,044 | 961,044 |
| 利益剰余金 | 20,237,618 | 22,219,219 |
| 自己株式 | △435,500 | △435,500 |
| 株主資本合計 | 21,661,752 | 23,643,354 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 75,466 | 118,087 |
| 繰延ヘッジ損益 | 671 | △5,023 |
| 為替換算調整勘定 | 437,684 | 726,584 |
| その他の包括利益累計額合計 | 513,822 | 839,647 |
| 非支配株主持分 | — | 108,670 |
| 純資産合計 | 22,175,575 | 24,591,672 |
| 負債純資産合計 | 34,351,790 | 38,641,825 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 54,695,637 | 63,302,401 |
| 売上原価 | 45,007,948 | 51,639,757 |
| 売上総利益 | 9,687,688 | 11,662,643 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,967,545 | 8,517,350 |
| 営業利益 | 2,720,143 | 3,145,292 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7,323 | 4,143 |
| 受取配当金 | 4,293 | 3,485 |
| 仕入割引 | 121,763 | 120,525 |
| 不動産賃貸料 | 13,912 | 28,289 |
| 為替差益 | 22,173 | 61,906 |
| 協賛金収入 | 25,620 | — |
| その他 | 48,823 | 51,669 |
| 営業外収益合計 | 243,909 | 270,019 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 19,787 | 19,315 |
| 支払手数料 | 9,627 | — |
| 不動産賃貸費用 | 735 | 14,093 |
| 棚卸資産処分損 | — | 15,361 |
| 支払補償費 | 5,600 | — |
| その他 | 17,459 | 9,456 |
| 営業外費用合計 | 53,210 | 58,227 |
| 経常利益 | 2,910,842 | 3,357,085 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 36,649 | — |
| 子会社株式売却益 | 25,728 | — |
| 固定資産売却益 | 701 | 2,833 |
| 特別利益合計 | 63,079 | 2,833 |
| 特別損失 | | |
| 事務所移転費用 | 4,100 | 4,392 |
| 固定資産除売却損 | 1,050 | 5,260 |
| 投資有価証券評価損 | — | 9,240 |
| 特別損失合計 | 5,151 | 18,893 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,968,770 | 3,341,024 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 966,375 | 994,654 |
| 法人税等調整額 | △57,493 | △51,308 |
| 法人税等合計 | 908,881 | 943,345 |
| 当期純利益 | 2,059,888 | 2,397,679 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | — | 5,650 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,059,888 | 2,392,028 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 2,059,888 | 2,397,679 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,093 | 42,620 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1,417 | △5,695 |
| 為替換算調整勘定 | 311,048 | 244,907 |
| その他の包括利益合計 | 313,560 | 281,833 |
| 包括利益 | 2,373,448 | 2,679,512 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 2,373,448 | 2,665,605 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | 13,907 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|-----------------------|---------|---------|------------|----------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 898,591 | 961,044 | 18,599,497 | △435,500 | 20,023,632 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △421,767 | | △421,767 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 2,059,888 | | 2,059,888 |
| 連結範囲の変動 | | | | | |
| 連結範囲の変動に伴う為替換算調整勘定の増減 | | | | | |
| 連結子会社の増加による非支配株主持分の増減 | | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 1,638,120 | — | 1,638,120 |
| 当期末残高 | 898,591 | 961,044 | 20,237,618 | △435,500 | 21,661,752 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-----------------------|--------------|---------|----------|---------------|---------|------------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 74,372 | △745 | 126,635 | 200,262 | | 20,223,894 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △421,767 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 2,059,888 |
| 連結範囲の変動 | | | | | | |
| 連結範囲の変動に伴う為替換算調整勘定の増減 | | | | | | |
| 連結子会社の増加による非支配株主持分の増減 | | | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 1,093 | 1,417 | 311,048 | 313,560 | | 313,560 |
| 当期変動額合計 | 1,093 | 1,417 | 311,048 | 313,560 | | 1,951,680 |
| 当期末残高 | 75,466 | 671 | 437,684 | 513,822 | | 22,175,575 |

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|-----------------------|---------|---------|------------|----------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 898,591 | 961,044 | 20,237,618 | △435,500 | 21,661,752 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △471,978 | | △471,978 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 2,392,028 | | 2,392,028 |
| 連結範囲の変動 | | | 61,551 | | 61,551 |
| 連結範囲の変動に伴う為替換算調整勘定の増減 | | | | | |
| 連結子会社の増加による非支配株主持分の増減 | | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | | | 1,981,601 | | 1,981,601 |
| 当期末残高 | 898,591 | 961,044 | 22,219,219 | △435,500 | 23,643,354 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-----------------------|------------------|---------|----------|-------------------|---------|------------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利 益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 75,466 | 671 | 437,684 | 513,822 | | 22,175,575 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △471,978 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 2,392,028 |
| 連結範囲の変動 | | | | | | 61,551 |
| 連結範囲の変動に伴う為替換算調整勘定の増減 | | | 52,248 | 52,248 | | 52,248 |
| 連結子会社の増加による非支配株主持分の増減 | | | | | 94,763 | 94,763 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 42,620 | △5,695 | 236,651 | 273,576 | 13,907 | 287,483 |
| 当期変動額合計 | 42,620 | △5,695 | 288,899 | 325,825 | 108,670 | 2,416,097 |
| 当期末残高 | 118,087 | △5,023 | 726,584 | 839,647 | 108,670 | 24,591,672 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,968,770 | 3,341,024 |
| 減価償却費 | 326,460 | 399,762 |
| のれん償却額 | 108,577 | 176,498 |
| 長期前払費用償却額 | 3,847 | 6,183 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △18,728 | △71 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 90,418 | 136,108 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 5,718 | △9,923 |
| 受取利息及び受取配当金 | △11,617 | △7,629 |
| 支払利息 | 19,787 | 19,315 |
| 為替差損益 (△は益) | △4,601 | △36,052 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △36,649 | — |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 9,240 |
| 子会社株式売却損益 (△は益) | △25,728 | — |
| 有形固定資産除売却損益 (△は益) | 348 | 2,427 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △618,635 | △640,141 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △1,639,685 | △870,184 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 307,289 | 245,619 |
| 未収消費税等の増減額 (△は増加) | △109 | △52,583 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 38,346 | △46,699 |
| その他 | 102,556 | 328,982 |
| 小計 | 1,616,365 | 3,001,876 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,917 | 8,289 |
| 利息の支払額 | △19,775 | △17,016 |
| 法人税等の支払額 | △763,127 | △1,157,589 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 838,380 | 1,835,561 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 1,200 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △50,800 | △122,234 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 40,406 | — |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △198,444 |
| 子会社株式の取得による支出 | — | △290,929 |
| 子会社株式の売却による収入 | 90,588 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △509,119 | △1,034,690 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,008 | 3,976 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △168,905 | △131,470 |
| 貸付けによる支出 | △274,956 | △1,218 |
| 貸付金の回収による収入 | 1,626 | 2,824 |
| その他 | △9,354 | △26,476 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △879,507 | △1,797,461 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額 (△は減少) | 114,930 | △327,659 |
| 長期借入れによる収入 | 1,300,000 | 2,100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △464,049 | △1,019,796 |
| 社債の償還による支出 | △20,000 | △20,000 |
| リース債務の返済による支出 | △82,725 | △93,107 |
| 配当金の支払額 | △421,767 | △471,978 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 426,388 | 167,459 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 81,157 | 58,549 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 466,417 | 264,108 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,047,214 | 6,513,632 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 75,147 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 6,513,632 | 6,852,888 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より重要性が増したため、SPK Motorparts Co.,Ltd.を連結の範囲に含めております。なお、SPK Motorparts Co.,Ltd.は、当社の特定子会社に該当しております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社北光社の全株式を取得し、子会社としたため、連結の範囲に含めております。なお、2023年6月30日をみなし取得日としたため、第1四半期連結会計期間は貸借対照表のみ連結し、第2四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社北光社

事業の内容：自動車・二輪部品販売卸

②企業結合を行った主な理由

株式会社北光社は徳島県に強固な地盤を有する1951年設立の、自動車部品等の二次卸を営む企業です。

自動車整備・補修のアフターマーケットを主要な事業領域として、国内外の自動車部品卸に携わる当社グループにとって、地域戦略等の観点からシナジー効果が大きいと期待できると考慮し、株式を取得することといたしました。

③企業結合日

2023年5月31日（株式取得日）

2023年6月30日（みなし取得日）

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

変更はありません。

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2023年7月1日から2024年3月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | |
|-------|----|-----------|
| 取得の対価 | 現金 | 350,000千円 |
| 取得原価 | | 350,000 |

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 8,800千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん

178,919千円

②発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

③償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

| | |
|------|-----------|
| 流動資産 | 468,360千円 |
| 固定資産 | 256,862 |
| 資産合計 | 725,222 |
| 流動負債 | 437,085 |
| 固定負債 | 117,057 |
| 負債合計 | 554,142 |

(7) 企業結合が連結会計年度開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

| | |
|-------------|-----------|
| 売上高 | 431,428千円 |
| 営業利益 | △1,060 |
| 経常利益 | 114,235 |
| 税金等調整前当期純利益 | 74,482 |

(概算額の算定方法)

企業結合が連結会計年度開始の日に完了したと仮定して算定された売上高及び損益情報と、取得企業の連結損益計算書における売上高及び損益情報との差額を、影響の概算額としております。

なお、当該注記は監査証明を受けておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主に自動車部品・用品の国内販売・輸出入、産業用車輛部品の企画販売およびカスタマイズドパーツの企画販売を行っており、自動車部品・用品およびフォークリフト用補修部品の国内販売は国内営業本部が、自動車部品の海外取引は海外営業本部が、産業用車輛部品の企画販売は工機営業本部が、カスタマイズドパーツの企画販売はCUSPA営業本部が、それぞれ担当しております。

したがって、当社グループの構成単位は販売体制を基礎とした営業本部別のセグメントから構成されており、「国内営業本部」、「海外営業本部」、「工機営業本部」、「CUSPA営業本部」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

事業セグメントに資産を配分しておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

| | 国内営業本部 | 海外営業本部 | 工機営業本部 | CUSPA営業本部 | 合計 |
|-----------------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 27,287,372 | 18,195,978 | 6,001,918 | 3,210,367 | 54,695,637 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 106,493 | 22,108 | 73,932 | 10,216 | 212,750 |
| 計 | 27,393,865 | 18,218,086 | 6,075,851 | 3,220,584 | 54,908,388 |
| セグメント利益 | 1,454,297 | 681,535 | 349,846 | 209,383 | 2,695,061 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 126,834 | 82,258 | 36,088 | 14,443 | 259,625 |

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

| | 国内営業本部 | 海外営業本部 | 工機営業本部 | CUSPA営業本部 | 合計 |
|-----------------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 29,822,124 | 22,336,160 | 7,685,900 | 3,458,215 | 63,302,401 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 125,267 | 24,482 | 97,257 | 4,785 | 251,791 |
| 計 | 29,947,391 | 22,360,642 | 7,783,157 | 3,463,000 | 63,554,192 |
| セグメント利益 | 1,377,392 | 963,454 | 691,896 | 152,833 | 3,185,577 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 167,540 | 103,049 | 47,760 | 27,006 | 345,356 |

4. 報告セグメントの合計金額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

| 売上高 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|------------|------------|------------|
| 報告セグメント計 | 54,908,388 | 63,554,192 |
| セグメント間取引消去 | △212,750 | △251,791 |
| 連結財務諸表の売上高 | 54,695,637 | 63,302,401 |

(単位：千円)

| 利益 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|--------------|-----------|-----------|
| 報告セグメント計 | 2,695,061 | 3,185,577 |
| 一般管理費の調整額(1) | 22,566 | △58,401 |
| 全社営業外収益(2) | △11,631 | 52,135 |
| 営業外費用の調整額(3) | 204,845 | 177,773 |
| 連結財務諸表の経常利益 | 2,910,842 | 3,357,085 |

(注) (1)、(3)は各営業本部が負担する一般管理費及び営業外費用の配賦差異であります。

(2)は主に報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益であります。

(単位：千円)

| その他の項目 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|--------------|---------|---------|
| 報告セグメント計 | 259,625 | 345,356 |
| 調整額 | 66,834 | 64,944 |
| 連結財務諸表の減価償却費 | 326,460 | 410,301 |

(注) 調整額は主に報告セグメントに帰属しない管理部門の減価償却費であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、自動車及び産業用車輛の部品の販売を行っており、単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

| 日本 | アジア・オセアニア | 中南米 | その他 | 計 |
|------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 34,960,171 | 7,679,547 | 4,253,834 | 7,802,083 | 54,695,637 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、自動車及び産業用車輛の部品の販売を行っており、単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

| 日本 | アジア・オセアニア | 中南米 | その他 | 計 |
|------------|------------|-----------|-----------|------------|
| 39,296,207 | 10,217,949 | 5,151,676 | 8,636,567 | 63,302,401 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

| | 国内営業本部 | 海外営業本部 | 工機営業本部 | CUSPA営業本部 | 合計 |
|-------|--------|---------|--------|-----------|---------|
| 当期償却額 | 12,248 | 83,880 | — | 12,448 | 108,577 |
| 当期末残高 | 45,932 | 245,799 | — | 43,568 | 335,300 |

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

| | 国内営業本部 | 海外営業本部 | 工機営業本部 | CUSPA営業本部 | 合計 |
|-------|---------|---------|--------|-----------|---------|
| 当期償却額 | 39,086 | 124,963 | — | 12,448 | 176,498 |
| 当期末残高 | 185,765 | 197,095 | — | 31,120 | 413,980 |

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 2,208.26円 | 2,438.04円 |
| 1株当たり当期純利益 | 205.13円 | 238.20円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------------------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 2,059,888 | 2,392,028 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円) | 2,059,888 | 2,392,028 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 10,042 | 10,042 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。